



国の建物をつくり、活かす

官庁宮繕

国土交通省大臣官房官庁宮繕部 採用案内〔総合職〕

官庁営繕とは？

■ 官庁営繕の役割

① 官庁施設（国の建物）の整備

…対象施設は約4,300施設、約1,500万㎡

② 官庁施設の指導・監督

…営繕計画書に関する意見書の送付、勧告、保全の実地指導。

対象施設は約13,000施設、約4,900万㎡

③ 整備や保全に関する基準の設定

…位置・規模・構造並びに保全の基準の設定



- **官庁施設**には、庁舎をはじめ、研究施設、図書館、博物館、社会福祉施設など、様々なものがあります。



霞が関地区



総理大臣官邸 (2002)

出典: 首相官邸ホームページ (<https://www.kantei.go.jp/>)



中央合同庁舎第8号館 (2014)



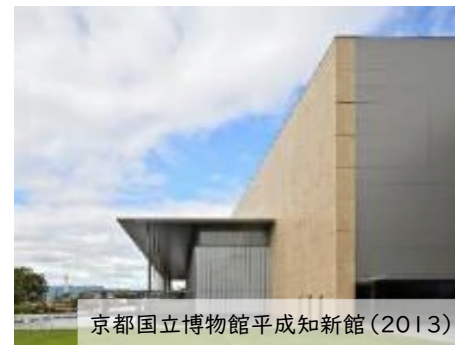
世田谷合同庁舎 (2016)



伊勢志摩サミット国際研究センターアネックス (2016)



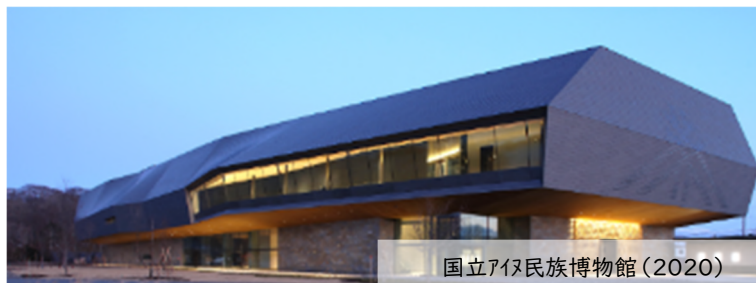
国際子ども図書館 (2015増築)



京都国立博物館平成知新館 (2013)



仙台合同庁舎B棟 (2015)



国立アイヌ民族博物館 (2020)

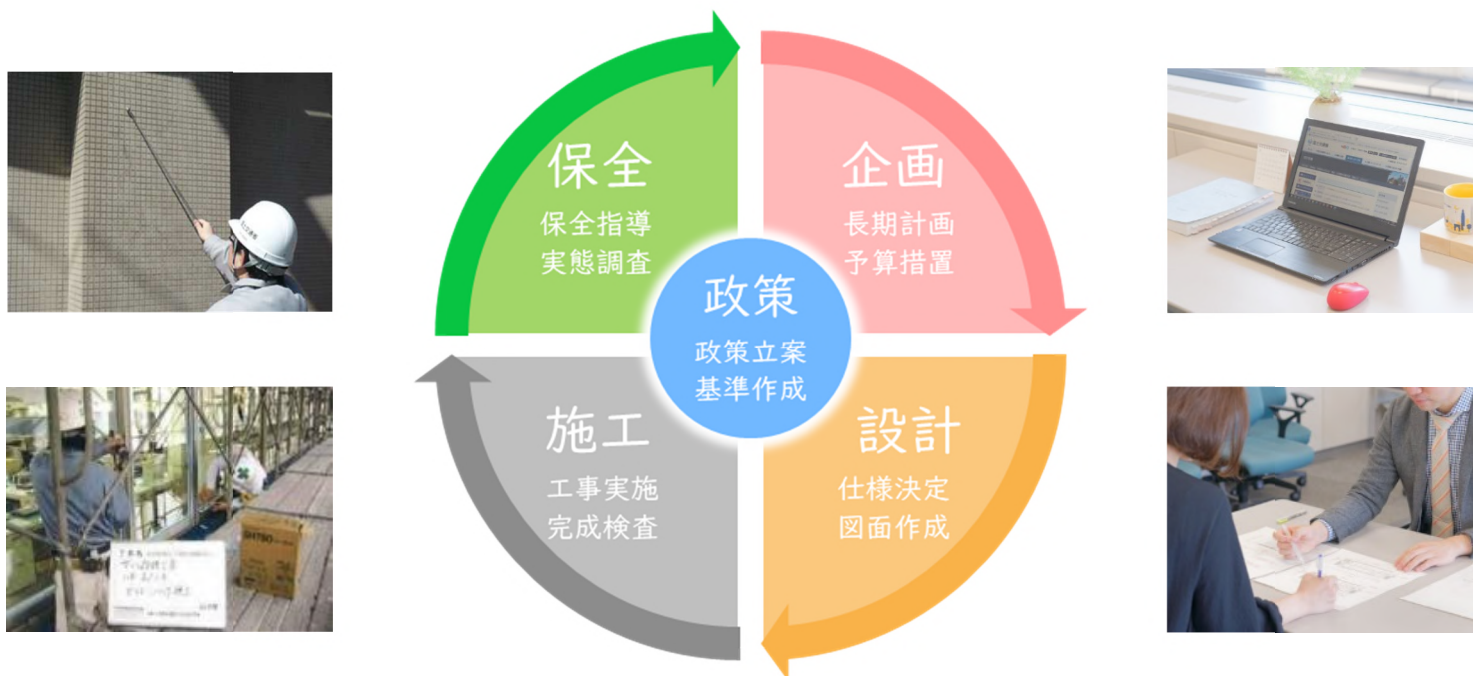


国立近現代建築資料館 (2012)



中央合同庁舎第6号館 (1996復原)

- 官庁営繕では、**官庁施設の総合調整**を行っています。



- **建築系、電気系、機械系**の3職種が、専門性を活かしながら連携し業務にあたっています。

建築系：景観計画・建築計画・構造設計などを専門、総合調整
電気系：照明設備・通信設備などの技術を専門
機械系：空調設備・水まわりの設備などの技術を専門

安全性、利便性、環境負荷低減などに配慮した官庁施設を実現



主な施策は？

防災・減災

地震対策、津波対策などを行うことで、災害対策活動の円滑化、人命の安全確保、行政機能の早期回復に寄与しています。



屋上にヘリポートを備えるなど、防災拠点としての機能を確保した仙台合同庁舎B棟



屋上の避難スペースや屋外階段の設置などにより、津波避難ビルの機能を確保した石巻港湾合同庁舎

老朽化対策

長寿命化やファシリティマネジメントを行うことで、機能・安全性の維持、トータルコストの縮減に寄与しています。



外壁の法定点検に関する施設管理者への保全指導



保全に関する情報提供と意見交換を行う各地区官庁施設保全連絡会議

■ 地域社会との連携

地方公共団体との連携、歴史的建造物の保存・活用などを行うことで、利便性の向上、まちづくりに寄与しています。



国、東京都、世田谷区の3者による集約・複合化を行った世田谷合同庁舎



景観に配慮し保存・活用を行った横浜税関本関（横浜市認定歴史建造物）

■ 環境対策・木材利用

環境負荷低減に配慮した整備、木材利用の推進を行うことで、CO₂排出量の削減、地球温暖化の防止に寄与しています。



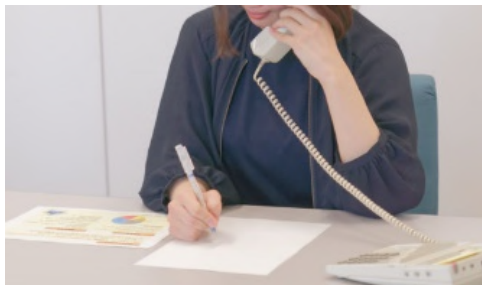
太陽光発電による再生可能エネルギーの活用



内装に木材を利用した国立アイヌ民族博物館

■ 公共建築の先導的役割

地方公共団体などへの支援、先導的な取組を行うことで、公共建築分野の質的・技術的水準の向上に寄与しています。



公共建築相談窓口における、地方公共団体などからの相談対応

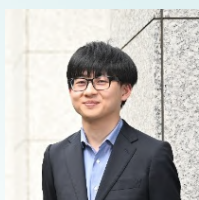


BIM(Building Information Modeling)によるコンピューター上の検討

キャリアパスと職員紹介

勤務先の例として、国土交通省（本省、地方整備局など）、内閣府、外務省（大使館）、財務省、環境省、衆議院・参議院への出向などがあります。（研修制度、留学制度あり）

本省
官庁営繕部



金辻 賢太郎【p.8】



中尾 静香【p.9】



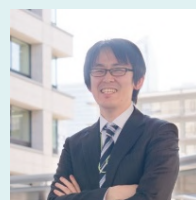
日高 彩【p.11】



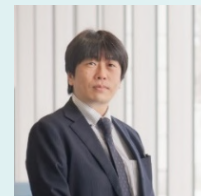
山本 和樹【p.11】



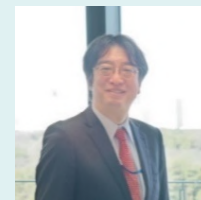
松本 周介【p.12】



橋本 幸治【p.13】



三ツ木 浩剛【p.13】



米原 賢【p.14】



佐藤 由美【p.7】

入省

係員

3年目

係長級

（係長・主査）

7年目

課長補佐級

（本省：課長補佐・企画専門官）
（地方局：課長）

30年目

課室長級

（本省：課長、室長、企画官）
（地方局：部長）

部長

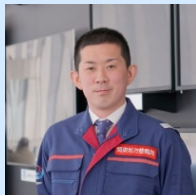
地方
整備局



藤牧 哲也【p.15】



下野 恵理子【p.9】



近藤 裕介【p.10】



安齊 真吾【p.12】

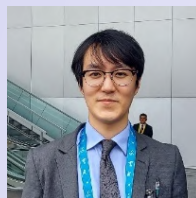


中山 義章【p.14】

出向



高木 星子【p.8】



小金澤 達【p.10】

職員インタビュー



01 新しい一歩を積み重ねて

佐藤 由美 Sato Yumi

国土交通省大臣官房官庁営繕部
部長

平成5年入省 建築職（当時32年目）

Profile

- ・平成5年 東北地方建設局（現 東北地方整備局）営繕部建築課
- ・平成12年 人事院短期在外研究員（カナダ政府機関派遣）
- ・平成13年 環境省総合環境政策局環境経済課 課長補佐
- ・平成15年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐
- ・平成18年 関東地方整備局営繕部 営繕特別事業対策官
- ・平成20年 中国地方整備局営繕部 計画課長
- ・平成23年 財務省理財局国有財産調整課 宿舍技術専門官
- ・平成25年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課
民間資金等活用営繕事業対策官
- ・平成26年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 営繕技術基準対策官
- ・平成28年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕計画調整官
- ・令和元年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 建築技術調整室長
- ・令和3年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 課長

国は、行政サービスを提供するための場として、たくさんの官庁施設を保有しています。官庁施設が機能しないということがあれば、行政サービスに支障が生じるおそれもあります。また、官庁施設は、地域に根ざし、まちの風景の一部となり、にぎわいの創出などに貢献するものともなっています。

このような官庁施設のライフサイクルでのプロジェクトマネジメント、それが官庁常務の仕事の中心にあります。

私自身も小規模な庁舎の新築・改修から大規模なPFI事業まで、いくつかのプロジェクトを担当しました。産みの苦しみもありましたが、施設利用者、地元関係者、設計・工事関係者等とともに作り上げてきたプロジェクトが完成したときは、何とも嬉しいものです。

国のプロジェクトとして実施していくうえで、その時々¹の社会的課題に対応した政策を具現化するよう取り組んでいます。

大規模地震や激甚化する自然災害に対する防災対策、地球温暖化対策などを、実際の官庁施設の設計や工事において、どのように実施するのか、実践とフィー

ドバックを繰り返しながら検討してきました。このようにして蓄積してきた官庁
営繕のノウハウは、基準等として広く公表しており、地方公共団体等における公
共建築の整備の現場実務のベースとしても活用いただいています。

働き方改革、デジタル技術の進展などにより、近年オフィススペースにも変化が生じています。コンパクトシティ化の検討のなかで、公共施設の立地の適正化がテーマとされることもあります。デジタル技術の進展はまた、施設の整備や維持管理の現場実務にも変化をもたらしています。

このような様々な動きのなかで、どのような官庁施設づくりを進めていくのか、どのように施設整備や維持管理の生産性向上を図っていくのかなど、考えていくことが求められます。

より良い公共建築づくり、公共建築分野の生産性向上などにも資するよう、将来の官庁営繕を担う皆さんと一緒に、これからの取組について考えていきたいと思っています。



Profile ・ 令和4年 国土交通省東北地方整備局営繕部整備課

仕事内容

施策立案

企画

社会資本整備政策課では、社会資本整備重点計画の策定や国土交通省所管分野のPPP/PFIの推進等を掌握しています。私の所属する官民班は、省内のPPP/PFIのとりまとめ、地方公共団体への案件形成の推進施策を担当し、私はブロックプラットフォームの企画運営や調査などを主に行っています。

仕事の魅力・やりがい

社会資本整備政策課は、民間企業からの出向者が多く、官民の枠を超えた多分野の方々と交流を通し、学びの多い日々を過ごしています。業務では、営繕だけでなく、インフラ分野全体に目を向け、地方公共団体におけるPPP/PFIの推進のため、関係部局との調整・連携、悩みを抱える地方公共団体との対話、知見のある民間事業者との情報交換等を通じ、リアルな声を業務に活かせるよう努めています。また、予算要求や国会対応に関する業務も日常的に行っており、自分で施策の企画立案を行える等、責任ある仕事を若いうちから任されることが最大の魅力と感じています。



Profile ・ 令和4年 国土交通省中国地方整備局営繕部整備課
・ 令和5年 国土交通省中国地方整備局営繕部計画課

仕事内容

企画

官庁施設の防災に関わる仕事をしています。災害発生時の連絡体制を確保するためのルールづくりや防災訓練の実施といった事前の備えを行うとともに、実際に災害が発生した際には情報収集の統括を行っています。

その他にも、営繕工事の働き方改革の推進などの業務にも携わっています。

仕事の魅力・やりがい

地震や津波、台風等の風水害によって、官庁施設が被害を受けることも少なくありません。災害発生時に各省庁の職員が災害対応やその他の業務を安全かつ円滑に行うために、官庁営繕部では、官庁施設の被害状況の収集や被害が生じた施設に対する技術支援を行っています。

いつ起こるかわからない災害に備える仕事で大変なこともあります。災害が起きたときでも国の活動を守る重要な仕事であり、やりがいを感じています。

04 プロジェクトの土台づくり

中尾 静香 Nakao Shizuka
国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課
計画第一係長
令和2年入省 建築職（当時5年目）

Profile

- ・ 令和2年 国土交通省中国地方整備局営繕部計画課
- ・ 令和3年 国土交通省中国地方整備局営繕部整備課
- ・ 令和4年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画基準係長

仕事内容

企画

官庁施設の整備に関する計画の企画立案、関係機関との連絡調整などを担当しています。

仕事の魅力・やりがい

現在担当している計画の仕事は、設計や施工が始まる前のプロジェクトの立ち上げ段階に関わることが多く、必要な予算の確保や条件の整理などを行います。また期間全体を通じて、設計や施工が円滑に進行するよう、関係する他省庁の方々と様々な調整を行います。プロジェクトの土台づくりともいえる仕事に責任とやりがいを感じています。

このように調整役を担う場面の多い計画の仕事では、官庁施設の整備に関するあらゆる知識や経験が必要とされることを日々実感しています。私はまだまだ未熟ですが、経験豊かな先輩方をお手本にしながら成長していきたいと思っています。

05 建築に向き合う 「技術屋さん」の仕事

下野 恵理子 Shimono Eriko
国土交通省関東地方整備局営繕部整備課
営繕技術専門官
平成27年入省 建築職（当時6年目）

Profile

- ・ 平成27年 国土交通省近畿地方整備局営繕部計画課
- ・ 平成28年 国土交通省近畿地方整備局営繕部整備課
- ・ 平成29年 復興庁調査・調整班 主査
- ・ 令和元年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画調整係長

仕事内容

設計

建築意匠分野の設計担当として、関東地方整備局で発注している官庁施設の設計業務や工事に携わっています。施設の使われ方を入居する官署の職員の方から聞き取り、現地の状況を実際に確認して、よりよい施設となるよう設計条件を検討して図面に反映させる仕事をしています。

仕事の魅力・やりがい

施策立案から実際のプロジェクトまで、あらゆる立場から建築に携わることができる官庁営繕部ですが、その中でも現在従事している設計の仕事は、直に建築と向き合うことのできる、最も現場に近いポストの一つです。設計の仕事の難しさであり醍醐味でもあるのは、一棟として同じ建物はないということです。官庁営繕部には長年蓄積した豊富な経験と専門知識がありますが、それでも、新たな課題に直面しては議論を重ね、よりよい設計を目指して探求を続けています。建築分野の技官として腕を磨く絶好の機会として、やりがいを感じながら取り組んでいます。



06 電気設備の専門職として

近藤 裕介 Kondo Yusuke

国土交通省関東地方整備局営繕部調整課
(併) 技術・評価課 保全指導・監督官
平成25年入省 電気職(当時8年目)

- Profile
- ・平成25年 国土交通省関東地方整備局営繕部整備課
 - ・平成27年 内閣府民間資金等活用事業推進室 主査
 - ・平成29年 国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課 設備企画係長
 - ・平成30年 国土交通省近畿地方整備局営繕部整備課 営繕技術専門官

仕事内容

設計

検査

電気設備に関わる設計、工事検査を行っています。

仕事の魅力・やりがい

入省するまでは気にも留めませんでしたが、何気なく使っている機器や配線に工夫やこだわりがあります。どうすれば使いやすくなったり、壊れにくくなったりするのかと日々考えながら仕事に取り組んでいます

以前、基準・規格の作成に携わった照明技術を、現在、設計中の建物で実際に取り入れようとしています。このように基準・規格の作成から建設まで幅広く関わることが官庁営繕の魅力です。

また、工事検査の仕事では、最終確認者として設計図どおりにできているかを確認するだけでなく、利用者目線になって使いやすさやメンテナンスのしやすさなども確認するよう心がけています。



07 海外から日本の利益を追求する

小金澤 達 Koganezawa Toru

外務省在ペルー日本国大使館 二等書記官
平成27年入省 建築職(当時8年目)

- Profile
- ・平成27年 国土交通省四国地方整備局営繕部整備課
 - ・平成29年 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室指導調整係長
 - ・平成31年 国土交通省大臣官庁官庁営繕部計画課 計画第一係長
 - ・令和2年 国土交通省東北地方整備局営繕部計画課 営繕技術専門官

仕事内容

企画

在ペルー日本国大使館では、経済協力を通じて日本とペルーの二国間関係をより強固なものにしていくために、ペルー政府に対する無償資金協力などのプロジェクトで案件の企画立案、ペルー政府との調整、広報を行っています。また、国土交通省からの出向者として、ペルーの様々なインフラの整備事業において、日本企業の海外進出を支援しています。

仕事の魅力・やりがい

国土交通省からの出向者であることから、建築のみならず国土交通省が所管する道路・港湾・空港・鉄道といったすべての分野の担当者としてインフラ関係の日本企業などから意見を求められるほか、ペルー政府と関係構築や交渉をする必要があります。業務に必要な広範な知識を得ることは簡単ではありませんが、国土交通省の職員として日本企業の海外での活躍をサポートすることで、日本の技術が詰まったインフラがペルーで整備されることに、やりがいと魅力を感じます。



08 安心して使える施設のために

日高 彩 Hidaka Aya

国土交通省大臣官房官庁営繕部

設備・環境課 営繕環境対策室 課長補佐

平成24年入省 建築職（当時11年目）

Profile

- ・平成24年 国土交通省九州地方整備局営繕部計画課
- ・平成26年 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業調整第三係長
- ・平成28年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室 係長
- ・平成29年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 計画基準係長
- ・平成30年 国土交通省関東地方整備局営繕部調整課 営繕技術専門官

仕事内容

企画

ZEBなどの省エネルギーの取組や、環境負荷の少ない建築材料の活用を推進することなどにより、官庁施設のライフサイクルCO2を低減する方策を企画立案しています。

仕事の魅力・やりがい

建築物における環境性能向上への関心が高まる中で、官庁施設に求められる環境性能を実現するためにはどうすればよいか、日々新しい技術や情報に触れ、多方面の関係者と調整しながら方向性を見いだしていくことにやりがいを感じています。

また、職員のワークライフバランスのための各種制度も充実しています。私自身、産前産後休暇・育児休業からの復帰後、以前の職務経験を活かして時短勤務ながらやりがいをもって働いています。ライフステージの変化に合わせて働きやすい環境が整っている点も魅力の一つです。



09 一般庁舎の整備から国家的プロジェクトまで

山本 和樹 Yamamoto Kazuki

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 課長補佐

（併）復興庁福島国際研究教育機構室 参事官補佐

平成24年入省 建築職（当時13年目）

Profile

- ・平成24年 国土交通省関東地方整備局営繕部整備課
- ・平成26年 復興庁調査・調整班 主査
- ・令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕技術専門官
- ・令和4年 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 営繕課長

仕事内容

企画

首里城復元、大阪・関西万博日本館、福島国際研究教育機構など国家的プロジェクトの事業調整を担当しています。この他、日本スポーツ振興センターなど外部組織が実施する事業に関する技術的な協力を行っています。

仕事の魅力・やりがい

官庁営繕では、一般庁舎の整備から国家的プロジェクトまで大小様々な事業に関わることができ、それこそが仕事の魅力のひとつです。事業規模に関わらず、私が調整する先の皆さんはそれぞれ違う背景を持ち、違う組織を背負っています。建築とは無縁な方々もいます。私の仕事はできるだけ誰にでもわかるように物事を伝え、最もスムーズに事業が進むようにマネジメントを行っていくことだと思っています。日々、周りの方々に助けていただきながらも、一歩ずつ事業が進捗していく姿こそがやりがいに繋がっています。

個人的なところでは私は転職をして官庁営繕に入省していますので、新卒・既卒問わず、是非とも官庁営繕にいらしてください。

10 現場を動かす

安齊 真吾 Anzai Shingo

国土交通省関東地方整備局宇都宮営繕事務所
所長

平成14年入省 建築職（当時19年目）

Profile

- ・平成14年 国土交通省中国地方整備局営繕部建築課
- ・平成19年 国土交通省関東地方整備局営繕部建築課 営繕技術専門官（平成20～22年英国留学）
- ・平成23年 外務省国際協力局開発協力総括課事業管理室 課長補佐
- ・平成25年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐
- ・平成27年 国土交通省中国地方整備局営繕部計画課 課長

仕事内容

施工

営繕事務所では、営繕工事の発注、現場の監督、官庁施設の管理者に対する保全指導などを行っています。

仕事の魅力・やりがい

現場の監督業務では、工事が図面のとおりにできているか、材料や施工方法は適切かなどの確認のほか、公共工事として適切な施工体制や安全管理ができているかなどについても確認しています。現場では大小問わず様々な課題や予期せぬトラブルに遭遇しますが、それらを一つ一つ解決し、工事を完成へと導いていくことは、現場に携わる者の仕事の醍醐味といえるでしょう。

また、本省などが定めたルールに基づき、実際に現場を動かしていく一方、現場の実情を把握し、ルールの改善に向けたフィードバックをすることも重要な仕事です。

11 課題の先にある 達成感を求めて

松本 周介 Matsumoto Shusuke

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
官庁施設防災対策官

平成14年入省 建築職（当時23年目）

Profile

- ・平成14年 国土交通省関東地方整備局営繕部建築第一課
- ・平成24年 在ペルー日本国大使館 一等書記官
- ・平成27年 国土交通省北陸地方整備局営繕部計画課 課長
- ・平成29年 内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室 参事官補佐
- ・令和4年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 企画専門官（併）復興庁福島国際研究教育機構室 参事官補佐

仕事内容

企画

国の中央省庁が立地する霞ヶ関地区における施設整備プロジェクトの企画立案、事業調整等を担当しています。

仕事の魅力・やりがい

施設利用者のほか設計者・施工者等そのプロジェクトに携わる多くの方々のニーズを実現するための課題が目の前に現れることは、入省以来就いた様々なポストに共通していますが、それらを一つずつ解決して前に進めていくことこそが官庁営繕の仕事の醍醐味であり面白さだと感じています。

ときには前例がない等困難に直面することも多々ありますが、プロジェクトに関わる仲間とともに、それらを解決したときの達成感は何事にも代えがたい瞬間です。さらにその施設が完成し、関係者の喜ぶ姿を見ることができるのは施設整備に携わる官庁営繕の仕事ならではの特権だと思います。

現在のポストでは、老朽化が進んだ霞ヶ関地区の庁舎を将来的にどのようにすべきか検討しており、達成感を求めて様々な課題に向き合っているところです。



12 DXによる生産性の向上のために

橋本 幸治 Hashimoto Koji

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
施設評価・デジタル高度化推進室 企画専門官
平成14年入省 建築職（当時23年目）

Profile

- ・平成14年 国土交通省中部地方整備局営繕部建築課
- ・平成28年 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 営繕課長
- ・平成30年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 課長補佐
- ・令和4年 国土交通省近畿地方整備局京都営繕事務所 所長

仕事内容

施策立案

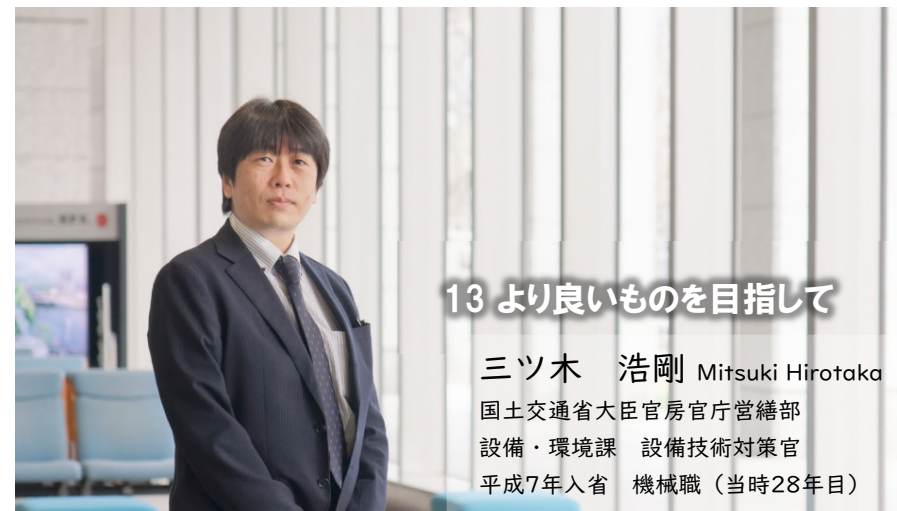
企画

BIMをはじめとしたデジタル技術の活用を通じた生産性向上の推進や、事業着手前や完成後の官庁施設の評価に関する取組を行っています。

仕事の魅力・やりがい

様々な分野でDXを進める必要があり、私たちが行っている国の施設整備も例外ではありません。言うまでもなく、技術の進歩はすさまじく、気づけば新しいものが次々と出てきます。そういった中で、私たちが行う事業にどういった技術を活用すれば、パートナーである設計事務所や施工会社の方々、全国で現場に立つ国土交通省職員の生産性の向上につながっていくのか。実効性も含め、「ちょうど良い」内容で実施できるよう取り組んでいます。

幸いにも、国土交通省の職員は若いうちから、学識者、設計関係、施工関係の皆様と意見交換を行ったり、最先端の取組に触れたりする機会が多くあるという恵まれた環境です。そういったところに身を置くことができるのも、この仕事の魅力の一つだと思います。



13 より良いものを目指して

三ツ木 浩剛 Mitsuki Hiroataka

国土交通省大臣官房官庁営繕部
設備・環境課 設備技術対策官
平成7年入省 機械職（当時28年目）

Profile

- ・平成7年 建設省東北地方建設局営繕部設備課
- ・平成13年 国土交通省関東地方整備局営繕部設備第二課 営繕設計官
- ・平成20年 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課 課長補佐
- ・平成27年 国土交通省近畿地方整備局営繕部 計画課長
- ・平成30年 財務省理財局 宿舍技術専門官
- ・令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕環境調整官

仕事内容

施策立案

企画

設計

官庁施設整備における建築設備に関する技術基準の作成や、建築設備に関する技術的課題の調整などの業務を担当しています。

仕事の魅力・やりがい

建築設備は、水や電気・ガスなどのエネルギーを扱うこともあり、国土強靱化や脱炭素といった今日の重要な政策課題と深い関係があります。こうした政策課題に対応するため、定期的に技術基準の見直しを行っていますが、設計、施工、材料・機器と広範に及ぶ関係者を始め、意匠、構造といった関連する他分野との調整が欠かせません。全体のバランスを配慮しつつ、建築設備として良いものを目指す。そのことを意識し、皆で議論をしたりします。最後は実務等を通じ得てきた経験・知識を踏まえ判断することもあります。悩ましくもありますが、充実感のある仕事です。

建築設備には電気、衛生、空調などの専門性をもった分野があり、それ故に多彩な職員が集まっています。こうしたチームで仕事ができることが官庁営繕の強みであり魅力だと感じています。



14 建物を長く良好に使うために

米原 賢 Yonehara Ken

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課
保全指導室 室長
平成8年入省 電気職（当時29年目）

- Profile
- ・平成8年 北海道開発庁北海道開発局営繕部設備課
 - ・平成26年 国土交通省九州地方整備局営繕部 計画課長
 - ・平成28年 国土交通省関東地方整備局営繕部 設備技術対策官
 - ・令和2年 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課営繕環境対策室 企画専門官
 - ・令和4年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課特別整備室 企画専門官

仕事内容

施策立案

企画

保全

官庁施設の適切な保全に向けて、管理官署を技術的に支援するための保全指導の企画、関連基準の整備を担当しています。

仕事の魅力・やりがい

国の官署の役割は様々であり、官庁施設もそれに合わせた性能が必要です。例えば、災害対応を行う官署で、災害時に建物が壊れてしまったり、必要な設備機器が動かなかったりすると、その役割を果たせない状況になってしまいます。建物は建設後、数十年間使用されます。その性能を維持しつつ、長く使うためには、建物の管理段階での「保全」が重要になってきます（非常用の設備が保全不足で非常時に使えない、ということが実際にあるのです）。

しかし、各施設を管理している担当者は、建築の専門家ではない場合が多いのが実情です。このため、官庁営繕が官庁施設の保全に対する技術的な支援・指導をする役割を担っており、良好な施設維持に寄与しています。頼られる存在として活躍できるところが、営繕職員の強みです。



15 地域の魅力を高める官庁施設

中山 義章 Nakayama Yoshiaki

国土交通省近畿地方整備局営繕部
部長
平成4年入省 建築職（当時31年目）

- Profile
- ・平成4年 建設省関東地方建設局営繕部建築第一課
 - ・平成14年 国土交通省近畿地方整備局営繕部建築課 課長
 - ・平成17年 国土交通省総合政策局建設業課 課長補佐
 - ・平成30年 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室 室長
 - ・平成31年 国土交通省中国地方整備局営繕部 部長

仕事内容

マネジメント

地方整備局の営繕部職員が、官庁施設の整備や保全指導等の業務を着実に実施出来るよう、部をマネジメントし働きやすい職場環境を作ることが一番の仕事です。

仕事の魅力・やりがい

私たち営繕部職員は、建築、電気、機械の3職種が専門性を活かしながら業務を行っていますが、自分の専門分野だけでなく官庁施設の専門家として幅広い知識と視野をもって仕事を進めることが重要です。

官庁施設には、庁舎をはじめとして様々な種類の施設があります。施設整備にあたっては、各省庁の業務内容を把握しそのニーズに答えるとともに、地域の環境や伝統・文化などを考慮し、その地域の魅力を高める施設整備を心がけています。

様々な国家機関の行政サービスを提供する官庁施設の整備を通じて、魅力ある地域づくりに貢献していきたいと考えています。

特集 若手職員へのインタビュー



仕事内容

設計

近畿地方管内の官庁施設の整備を担当しており、その中でも構造設計に関する仕事をしています。

仕事の魅力・やりがい

プロジェクトの計画から実際の建物の設計、工事、その後の保全まで携わることができるのが官庁営繕の魅力の一つです。

様々な用途の官庁施設を整備していますが、地震大国である日本にある以上、地震に対する安全性はどの施設でも必要な要素であり、ときにはより高い性能を求められることもあります。担当している施設が必要としている耐震性能、耐久性を確保できるよう設計事務所の構造担当の方と日々議論を行っています。実際に建物の耐力を計算する機会も多く、営繕部の中でもより技術的な面で関わることができる仕事です。災害時に多くの人を守り、建物としての機能を守る重要な仕事としてやりがいを感じています。

若手職員の1日のスケジュール

- 8:30 自宅を出発
- 9:15 始業
メールチェック
- 11:00 課内打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 設計業務の
現地調査に同行
- 15:30 設計事務所から提出
された構造計算書の
チェック作業
- 17:00 部内の会議に出席
- 18:00 退庁
- 19:00 自宅の周りをランニング

～建築もののづくりの魅力発信と

現場の担い手の確保に向けた取組～

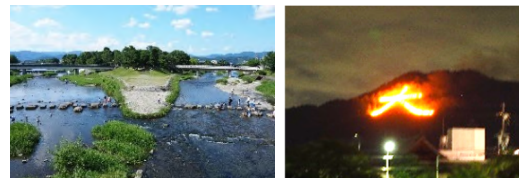
世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つでもある平城宮跡の復原整備について、近畿地方整備局は技術的な協力を行っています。

この復原整備を支える伝統的な工法に携わる職人の方々を整備局のHPで紹介するため、インタビューを担当しました。職人さんの仕事について広い年代の人々に興味をもってもらうことで、伝統的な工法の担い手の確保につながればと思います。



平城宮跡歴史公園
第一次大極殿院
大極門（南門）
令和4年3月完成 ▶

地方局での勤務について



▲京都市にて藤牧さん撮影（鴨川デルタ、五山送り火）

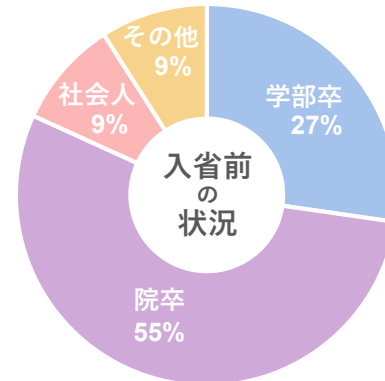
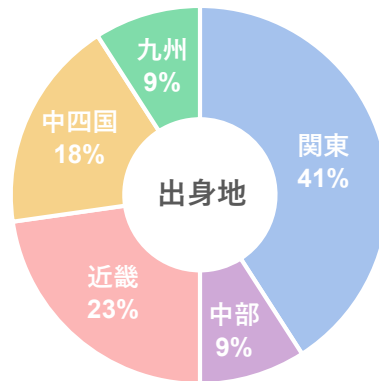
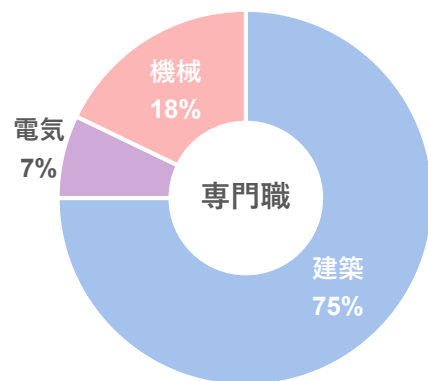
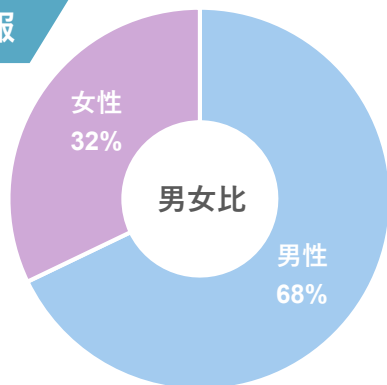
初任地の近畿地方整備局は大阪市にあります。休日に、京都市など近畿地方の観光地を訪れることも楽しみのひとつです。



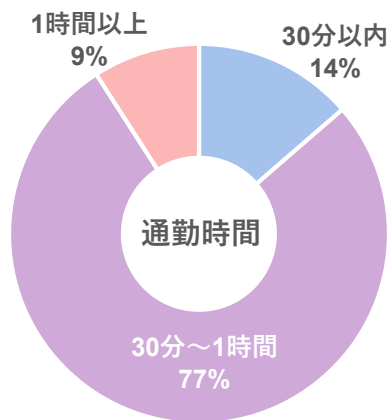
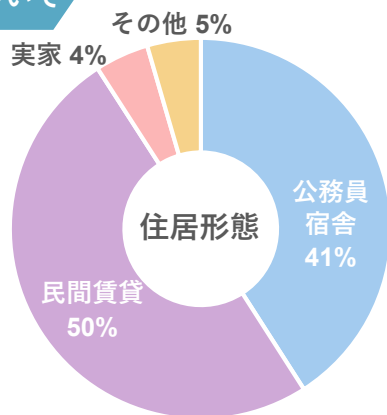
若手職員アンケート

■ 入省１～６年目の総合職若手職員たちに、職場環境や生活のようすについて聞いてみました。

基本情報



生活について



オフの過ごし方

【リフレッシュ】

- 野球観戦、散歩、社会人バスケ
- 旅行、キャンプ
- 読書、映画鑑賞
- 料理、気になる飲食店巡り など

【自己研鑽】

多くの若手職員が資格取得に向けて意欲的に取り組んでいるようです。

- 一級建築士、二級建築士、建築設備士
- 電気主任技術者 など

ワークライフバランス

WLB について感じていること

- フレックスタイム制度を活用し、勤務時間を前倒しています。朝は早めに通勤することで電車のラッシュを回避できますし、終業後の時間も有意義に過ごすことができます。
- コロナ禍を経てテレワーク環境が良くなり、自宅でも職場と変わらないクオリティで仕事ができるので便利です。
- 夏季休暇と有給休暇をあわせて、長期の休暇を計画することができました。

地方勤務での思い出

通常、入省後２年間の係員時代は地方整備局で勤務することになります。地方局の現場での経験や、勤務地ならではの生活を楽しんだことは、皆さんの良い思い出になっているようです。

- 自分が設計担当として携わった建物が完成した際は、とても嬉しい気持ちになりました。
- 出張の機会が多かったため管轄地方全域を巡ることになり、見聞を広めることができました。
- 休日にサイクリングで四国八十八箇所やうどん屋を巡りました。
- 配属されている２年間の間に北海道一周旅行をしました。
- 部内メンバーでのフットサルが定期的に開催されていて、よく参加しました。

①最近の採用状況を教えてください。

→総合職の技術系全体で80人程度採用されている中で、官庁営繕では、建築系・電気系・機械系の職員を毎年数人程度採用しています。

②官庁営繕では、どのような人材を求めていますか？

→官庁営繕は官庁施設の総合調整役であることから、ものづくりが好きな方、チームワークやコミュニケーションを大切にすることを求めています。

③志望できる大学の専攻は決まっていますか？

→特に決まりはありません。官庁営繕には、建築系のほか、電気・電子系、情報系、機械系、その他多様な専攻の方が入省しています。

④入省後、どのように専門的な技術力を習得することができますか。

→建築や設備の専門的な技術力は、入省後の実務経験の中で習得することができます。また、得られた技術力を活かし、一級建築士、電気主任技術者、設備士などの資格を取得することができます。

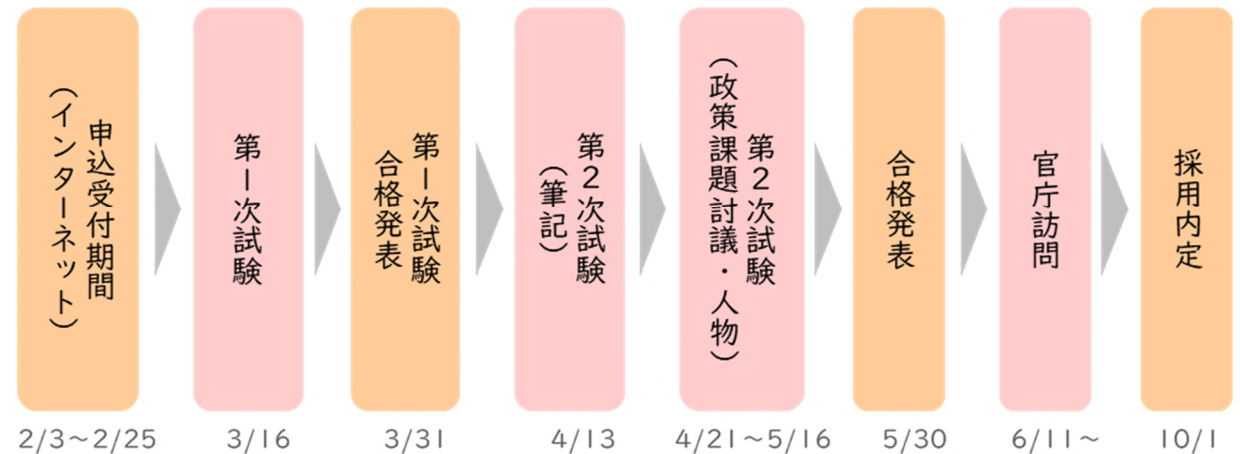
⑤官庁訪問への対策として、何か準備しておいた方がよいことはありますか？

→事前に業務説明会やOB訪問などを活用いただき、自分が成し遂げたいことや、入省後のイメージを持っておきましょう。

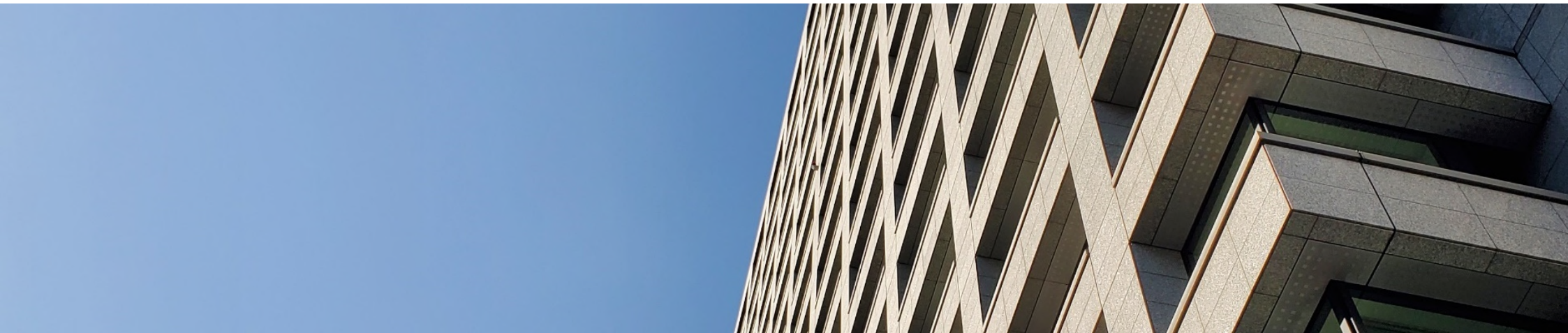
国土交通省の職員になるには？

- ①国家公務員採用試験に合格
(詳細は人事院採用HP※参照)
- ②業務区分ごとに官庁訪問
(詳細は国土交通省採用HP参照)
- ③採用者を決定

2025年度 国家公務員採用総合職試験 スケジュール



※試験・採用に関する最新情報は、国家公務員試験採用情報NAVIへ
URL: <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>





国土交通省大臣官房官庁営繕部 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館13階

問合先：総合職（官庁営繕建築職に関する採用窓口）

官庁営繕部計画課 営繕計画調整官

03-5253-8111（内線23202）

総合職（官庁営繕電気職・機械職に関する採用窓口）

官庁営繕部設備・環境課 設備技術対策官

03-5253-8111（内線23702）

